

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

7月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



☆「ハマボウ アオイ科」☆

学名は *Hibiscus hamabo* (ハビスカス ハマボウ)。暖地の海岸や河口に生える落葉低木。センターでは施設横に植栽している。



☆「ツバキの実」☆

この実の中に3~5個の種子が入っている。自然塾ではこの種子を使って搾油体験を開催中。



☆「アオノクマタケラン ショウガ科」☆

湿った林下に生える常緑多年草。果実は赤い球形。和歌山県の絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。



「ハマカンゾウ ユリ科」

海岸近くの草原や砂浜に生える多年草。常緑のため冬でも葉が残る。よく似たノカンゾウは冬になると葉は枯れる。



「ハマゴウ シソ科」

海岸砂地に生える落葉小低木。場所によっては常緑。芳香のある青紫色の花を咲かせている。



☆「ハマオモト ヒガンバナ科」☆

一般にはハマユウと呼ばれている。暖地の海岸沿いに生える常緑多年草。日没から強い芳香を放つ。



「ツマジロナガウニ」

殻径 3.5cm。棘長 2cm。棘の先端が白いのでツマジロ。殻が楕円形なのでナガウニ。ホラガイが天敵。



「ガンガゼ」

殻径 5cm。棘長 20cm 以上。棘は有毒で長く折れやすい。刺さると抜けにくいので危険。



「クモヒトデの仲間」

クモのような動き方をし、ヒトデと近縁な関係にある棘皮動物。トゲトゲしているが触っても痛くない。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪

宇久井半島にも夏がやってきました！ 海・山・川のレジャーを楽しみましょう♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

宇久井ビジターセンター
2023年7月前半号



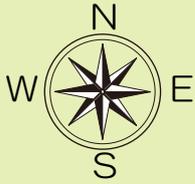
吉野熊野国立公園 宇久井半島

夏版

フェリーターミナル方面
通行できません

＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

自然観察の森

上野展望台

防空監視哨

松尾展望広場

赤灯台

地玉(じこく)の浜

駒ヶ崎灯台

外の取

千尋の浜

(上地の浜)



凡例

- 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段



木のすき間から浜が見えます。

- 灯台まであと4分
- ネズミモチ
- ヒメユズリハ
- モチノキ
- モチノキ
- モチツツジ
- タブノキ
- 水壺の跡
- カンコノキ
- ヤブニッケイ
- スタジイ
- タイミンタチバナ
- アオノクマタケラン
- ヒサカキ
- カラサンショウ
- イヌビワ
- シロダモ
- トベラ
- ヤブツバキ
- ヤマモモ
- モチノキ
- ヒサカキ
- ヤマモモ ハラシダ
- ヒサカキ
- ヤブツバキ
- マルバウツギ
- オガタマノキ
- 蛭子神社跡地
- ヤブツバキ
- ハゼノキ (メジロがよく食べに来ます)
- ヤブツバキ
- トベラ
- アキグミ
- ヤブツバキ
- メジロ
- キシバト
- ヒヨドリ
- ウグイス
- 至休暇村
- 南紀勝浦 休暇村
- シロダモ
- ホルトノキ
- 竹林
- シロダモ
- ハマオモト
- ハマナデシコ
- ハマゴウ
- ハマナタマメ
- トベラ